

2024 年 12 月 10 日

報道資料

一般社団法人電子情報技術産業協会

Green x Digital コンソーシアム、CO₂排出量「見える化」の社会実装を加速 ～ 実践的な教育セミナーを開催、企業の取り組みを後押し～

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA：代表理事/会長 津賀 一宏 パナソニック ホールディングス株式会社 取締役会長）が事務局を務める Green x Digital コンソーシアム（読み：グリーンカケルデジタルコンソーシアム）は、2050 年カーボンニュートラルを実現するため、サプライチェーン全体での CO₂ データ*「見える化」の取り組みをさらに加速させていただきます。具体的な活動としてサプライチェーン全体における CO₂ データの「見える化」を実現するための教育セミナーを 2025 年 1 月と 2 月に東京および大阪で開催して、企業間連携を強化するとともに、データ基盤の整備や実務知識の普及を通じて、持続可能な社会を目指す活動を展開します。本セミナーには計 500 名を超える各業界の担当者が参加する見込みです。

今回のセミナーでは、Green x Digital コンソーシアム「見える化ワーキンググループ」（主査：稲垣孝一 日本電気株式会社）が作成した「CO₂ 可視化フレームワーク Edition 2」に則り、一次データに基づくサプライチェーン排出量を算定する際の手順と方法論を実務者向けに解説します。また、先進事例を題材に具体的な算定・活用方法を紹介することで、持続可能な社会への貢献を目指した企業の取り組みを後押しします。さらに、WBCSD（The World Business Council for Sustainable Development）の PACT（Partnership for Carbon Transparency）との整合を考慮し、グローバルなデータ連携の基盤としての実務知識も提供する予定です。

今後、同コンソーシアムでは今後も普及活動を展開する予定です。詳細につきましては改めて発表いたします。

<セミナー開催概要>

- 第 1 回：東京開催
日程：2025 年 1 月 30 日（木）14:00-17:00
会場：日本電気株式会社 本社ビル講堂
定員：400 名（先着順）
- 第 2 回：大阪開催
日程：2025 年 2 月 12 日（水）14:00-17:00
会場：TKP ガーデンシティ大阪梅田 バンケット 12A
定員：150 名（先着順）

そのほか詳細は以下の URL をご確認ください。

【詳細 URL】 <https://www.gxdc.jp/pdf/educational-seminar2024.pdf>

■ 参加費用

- Green x Digital コンソーシアム会員：3名まで無料（4名以上は一般料金適用）
- 非会員（一般料金）：10,000 円／1 名（テキスト代、消費税込）

■ 申込方法

参加ご希望の方は、以下の URL からお申し込みください。定員に限りがございますので、お早めの登録をおすすめいたします。

【お申し込み URL】 <https://forms.office.com/r/t3UAhyjyir>

* CO₂データについて

本プレスリリースおよび CO₂ 可視化フレームワークにおいては、IPCC が定める温室効果ガス排出量（GHG 排出量）の CO₂ 等価量（kg-CO₂e 等と表記される）を指す。二酸化炭素以外の温室効果ガスを含む。

■ Green x Digital コンソーシアム（グリーン カケル デジタル コンソーシアム）

環境関連分野のデジタル化や新たなビジネスモデルの創出などの取り組みを通じて、2050 年カーボンニュートラルの実現に寄与することを目的に、2021 年 10 月に設立。サプライチェーンにおける CO₂ 排出量の可視化や再生可能エネルギー導入などをテーマに会員間の共創促進を図る活動を展開する。座長は越塚 登（東京大学大学院 情報学環 教授）。会員数は 150 社（2024 年 11 月 14 日時点）。Web サイト：<https://www.gxdc.jp/>

【本件に関する企業関係者からのお問合せ先】

Green x Digital コンソーシアム 事務局

（一般社団法人電子情報技術産業協会 事業戦略本部 グリーンイノベーション部）

E-mail：green_digital@jeita.or.jp